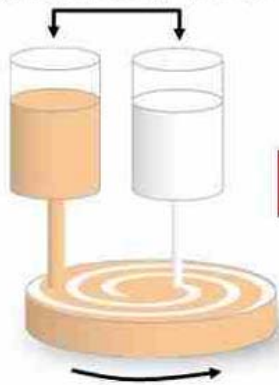


【業界*初 セパレート メルティング製法】

① 別々に溶かす



② 回転しながら流し込む



③ 肌に塗る時に2層がバランスよく混ざるように模様を工夫。



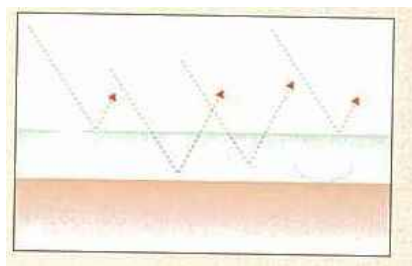
④ 冷却ラインで冷やして固めた後、フタをして密閉する

【図1 セパレート メルティング製法 例:SK-II】

【2層のエマルジョンが叶える理想の仕上がり】

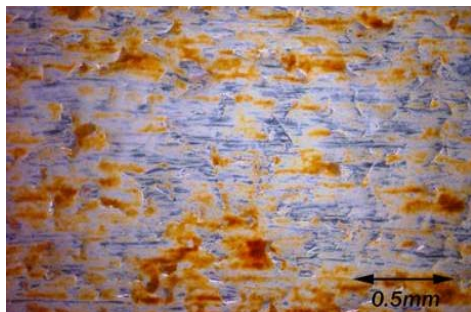
視覚的にも印象的な“うず巻き”の形状は、肌のにせる直前にざっくり混ぜ合わせても2層がバランスよくブレンドされ、かつムラなく塗布するのに最も適した形状と判断し、採用したものです。この2層のテクノロジーはパウダーやリキッドで再現することは難しく、エマルジョンにおいてのみ可能となります。

ベージュ層と白い層が混ざることによって、従来のファンデーションでは得られなかった肌内部からの光を取り込むことを可能にしました。肌の内部から反射しているような光の効果により、肌トラブルをカバーしながらも透明感・ツヤのある理想の仕上がりを実現します。

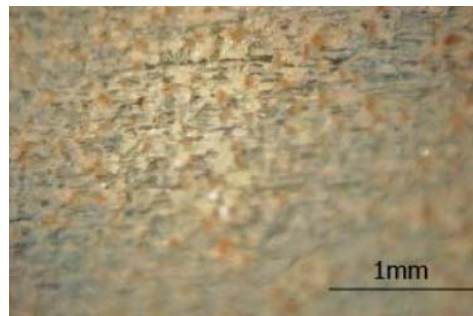


【図2】ベージュ層とホワイト層が混ざることによって、従来のファンデーションでは得られなかった肌の中からのほんのりとした光感を取り込むことが可能になりました。

光を下から当てて撮影



光を上から当てて撮影



【図3】透明な板にファンデーションを塗布し、光を下から当てる(左)とその光が透過していることが分かります。反対に光を上から当てる(右)と均一な見た目を実現します。

ベージュ層と白い層がほどよく混じって、内側からの微細な光を透過させながらも、肌表面は均一に美しい仕上がりを実現します。